

環境パネル展開催

環境月間におけるイベントの一環として、6/3～6/7の5日間、市役所1階市民ホールで、ずしし環境会議（エコリーダーズ会議）主催の環境パネル展が開催されました。

■環境パネル展開催

6/3～6/7の5日間で、昨年を大幅に上回る来場者がありました。パネルの前でじっくり考えている方、積極的に質問される方、学校帰りに毎日水槽の様子を見にきてくれた児童・生徒さんなど、様々な方が来場されました。



[まちなみと緑の創造部会]



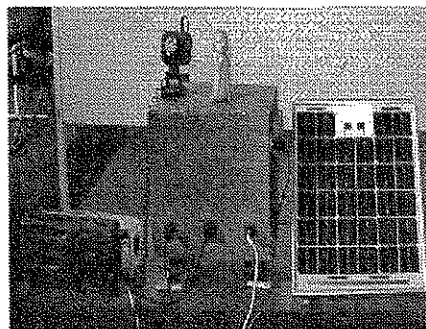
田越川の生きもの水槽展示

[ごみ問題部会]



買い物袋（マイバック）展示

[二酸化炭素削減部会]



太陽光発電パネル展示

■アンケート実施

当日来場してくださった方々にアンケート協力をしていただきました。

「今後も期待している」

「もっと積極的なPRを」

などの意見があり、今後の活動を行っていく上で、大変勇気づけられました。

また、環境問題に対して、関心の高い事項として、①ごみ問題 ②地球温暖化 ③緑の保全などが挙げられました。さらに、これらの問題改善に最も重要なことは

「市民一人ひとりの心がけ」

と答えた方が最も多く、多数の市民の皆様が環境に対して、前向きに取り組む姿勢が感じられました。

■今後に向けて

開催期間中、多くの方が足を運ばれ、大変活気のあるものとなりました。また、パネル展を通じて、ずしし環境会議に興味・関心を持った方々が新メンバーとして、加わってくださることとなり、活動規模もさらに大きくなりました。

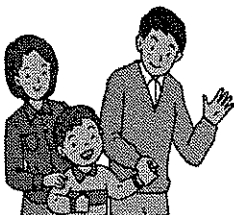
今回実施したアンケートのご意見を参考にし、今後も精力的な活動を行っていくとともに、来年度もより良い展示が開催できるよう努めていこうと思います。

■パネル展の内容

まちなみと緑の創造部会、ごみ問題部会、二酸化炭素削減部会の各部会ごとに日頃の活動内容を中心に展示を行いました。

またパネルの展示だけでなく、まちなみと緑の創造部会では、田越川の生きもの（魚・カニなど）の水槽展示、ごみ問題部会では、各種買い物袋（マイバック）と生ごみ処理機の展示、二酸化炭素削減部会では、太陽光発電パネルを用いて、実際にラジオを聞いてみる

といった試みも行われ、“きて・みて・さわれる”展示に人気が集まっていました。



まちなみと緑の創造部会

15名ではじまった当部会は今年7名が新たに加わり、昨年から続けている市内の特徴的な場所のウォッチングも10ヶ所を数えました。見るべき場所はまだまだ多くありますが、逗子のまちなみと緑の現状についての共通認識が概ね形成されてきました。環境月間にはそれらをパネル化して発表しています。ウォッチングの成果をまとめた「マップづくり」を進める一方で、具体的な場所での活動を展開する段階にきました。今年には逗子の懐かしい里山の面影を残す名越谷戸で徐々に小さな成果を築いていこうと考えています。

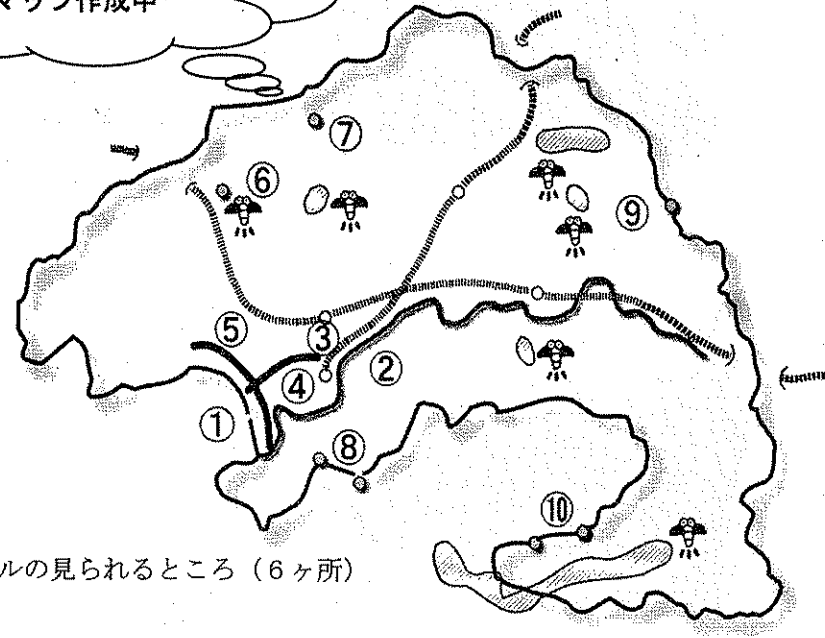
■ご存じですか逗子の宝物

10ヶ所のウォッチングを通して、日頃見慣れていた場所でも、あらためて観察すると新鮮な驚きと新しい発見があります。市内を歩くと、逗子には埋もれている宝がいっぱいあると実感します。

パネル展でのアンケートでは、下記の場所について大半の人が一度は訪れたことがありましたが、パネルの内容を見て、知らないことがあったと答えた方が半数以上でした。

- ①逗子の顔、逗子海岸
- ②河口から源流まで迎れる田越川
- ③にぎわいの核、逗子駅周辺
- ④駅と海岸を結ぶシンボルロード
- ⑤歴史と伝説の道、旧浦賀道
- ⑥逗子の原風景、名越谷戸
- ⑦緑に囲まれた水面、久木大池
- ⑧由緒ある桜山と古墳
- ⑨古刹神武寺と東京湾を望む鷹取山
- ⑩奥深い自然を残す二子山

ただいまウォッチング
マップ作成中



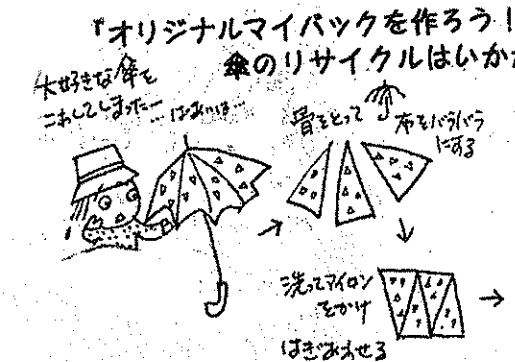
ホテルの見られるところ (6ヶ所)

ごみ問題部会

ごみ問題の重要性を理解している人は多いが、この部会に入って活動しようとする人は少なく、昨年度は8人の部員で活動してきましたが、6月の環境パネル展で部員募集をしたところ、一挙に5人の市民の参加がありました。今年度は、また違った視点の活動も出来るのではないかと、期待しているところです。事業者の協働という目標を考えると、事業者の参加はまだまだで、今後その面での働きかけも考えなくてはと思います。今年度活動してきたことは次のようなことです。

■「レジ袋及び買い物袋持参に関する実態調査」実施

今年度、市生活環境課で新しい形でマイバック製作を予算化したことに連動して、当部会でもマイバックキャンペーンを展開しようと、年度当初の活動計画に位置づけました。



ごみ減量の視点でレジ袋を考えると包装ごみの9%をレジ袋が占めているそうです。そこで、今年度はレジ袋に焦点をあててその減量に取り組みたいと、行動を開始しました。

先ず手始めに、「逗子市ごみ減量化、資源化協力店」の指定を受けている店舗のうち、「買い物袋持参の推進」で指定されている57店を対象に「レジ袋および買い物袋持参に関する実態調査」を実施し、40店舗から回答を得ました。

その結果の一部を紹介すると、1週間に配布されるレジ袋の数は11万枚以上で、金額にすると各店舗の平均単価は、1枚6.25円ですから70万円近くになります。

そのほとんどが、ごみとして焼却されることから、資源の問



有料化店でマイバック持参



ダンボール箱につめて

題、お金の問題、二酸化炭素の問題等を考えるとなくてはならないものではないだけに、マイバック持参でなんとか減量したいものです。

市内では2店舗が有料にしていますが、ほとんどの客はマイバック持参か、空きダンボール箱利用でした。

■「生ごみ処理機」普及活動

家庭ごみの30%を占める生ごみは水分80%以上を含み、焼却温度を下げるため、不完全燃焼の原因になりダイオキシン発生をもたらしています。

生ごみの減量化と有機物としての有効利用を考えると、生ごみ処理機の普及は、今後の方向性を示すと考えます。環境パネル展でも数種の電動生ごみ処理機を展示しました。



生ごみ処理機

二酸化炭素削減部会

わが国も京都議定書を批准し、ますます二酸化炭素削減のための具体的な行動と目に見える成果をだすことが重要になってきました。さて、当部会は本年5月に以前より活動していた新エネルギー普及検討会を分科会として組織統合、メンバーも30名と倍増し、活動内容はますます幅広く且つ充実してまいりました。本年度の具体的な活動計画はつぎの通りです。

＜二酸化炭素削減部会＞

■交通渋滞の解消

1. 清水橋南駐車場の利用促進

交通渋滞の大きな要因は違法駐車です。とくに市役所正面の道路は違法駐車が多く、慢性的渋滞になっています。一方、近くの清水橋南駐車場の利用率は極めて低い現状です。同駐車場の改修計画もあるようですが、それ以前の問題があると思います。当会ではいろいろな角度から本問題を検討し、利用率改善と渋滞解消に取り組む計画です。



2. 金沢・池田踏切の遮断時間短縮

昨年度両踏切遮断時間の実態調査を行い関係部署へ改善策を提案しました。その結果若干時間が短縮されましたが、まだ改善余地があると思われま。そこで更なる改善に向けて引き続き本問題に取り組みます。

■省エネルギー問題

今年度も市当局と連携し省エネ問題に取り組んでいます。6月には沼間中学校ふれ合いフェスティバルに参加し、生徒をはじめ来場者に省エネの重要性を訴えました。今後も引き続き学校の公開授業等へ積極的に参加する予定です。

■NOx測定

ディーゼル車の排気ガスに起因する酸化窒素NOxは大気汚染のみならず喘息の原因とも言われています。NOx測定は既に県当局にて行っていますが、これを補完するためにより多くの地点で測定する計画です。

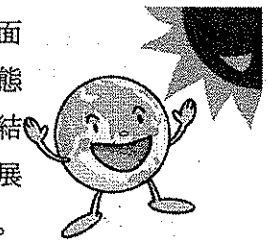
＜新エネルギー普及分科会＞

二酸化炭素の削減は逗子市においても避けて通れない課題です。

当分科会では各家庭へ新エネルギー導入とくに太陽光発電設備の設置促進を重点に取り組んでいます。

■太陽光発電設置者の実態調査

まず市内で設置された方々の生の声を聞き、その実態を知ることから始めました。本年5月面接方式により実態調査を実施し、結果を環境パネル展に発表しました。



みなさん環境問題に強い関心をもった方々ばかりでした。

■全国各市の補助制度調査

6月には全国各市の太陽光発電への補助制度の実態を調査しました。この結果、自治体の補助制度が設置促進のための大きな要因の一つになっていることがわかりました。

すでに当市にも利子補給による補助制度がありますが、一層の促進を図るため制度の充実に向けた改善案を本年7月に市当局に申し入れました。

■市内二酸化炭素排出量調査

市内で排出されている二酸化炭素がどの程度なのか、その実態を知ることが改善のための第一歩です。

当会では昨年度も本調査を実施しましたが、今年度はさらに充実した調査を行い、結果を発表し今後の施策に役立てていくことを計画しています。

私たち、ずしし環境会議(エコリーダーズ会議)を紹介します

■ずしし環境会議とは

逗子市環境基本計画及び行動等指針(ローカルアジェンダ21)にそって、平成13年3月31日にずしし環境会議(エコリーダーズ会議)が発足しました。市の支援のもとに、市民や事業者が主体となって環境の保全・創造に向け、あらゆる取組みを行っています。

■どんな活動をしているの?

市への環境政策の提案や様々な環境活動を企画・実践しています。また、環境改善に携わる団体や個人との情報交換及びサポート活動を行い、情報の収集・発信を行っています。



■入会申込み・お問合せ

入会申込み・お問合せは下記までご連絡下さい。

一事務局一
環境部環境管理課
Tel 0468-73-1111
内線 256



まちなみと緑の創造部会

逗子のまちなみと緑を次世代にどう伝えるか。まず、その現状認識を共有するために、典型的な場所のウォッチングを行っています。現地を見て意見交換しながら、そこで発見したテーマや課題をまとめた「マップづくり」と具体的な活動を計画しています。

ごみ問題部会

「ごみを出さない」を目標に、生ごみ処理機や買い物袋(マイバック)の普及啓発活動を行っています。また、レジ袋や買い物袋持参に関する実態調査等を地元商店街と協力して行い、逗子市におけるごみ問題の現状把握に努めています。

二酸化炭素削減部会

地球温暖化の主な原因である二酸化炭素の削減を目的とし、逗子市内の交通渋滞解消等について検討しています。また、太陽光発電パネルや風力発電システム等の自然エネルギーを、広く認識してもらうための活動を行っています。

環境部からのお知らせ

現在、逗子市環境部では次のような助成・補助金制度を行っています。お気軽にお問合せ下さい。

[環境管理課]

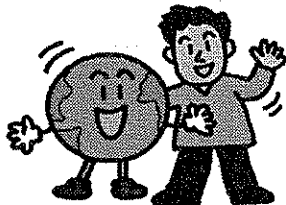
- 太陽光発電システム助成制度
上限 200 万円で、償還期間が 10 年以内の融資をあっせんしています。支払利子の 1/2 を助成します。
- 低公害車購入補助
電気自動車や天然ガス自動車、ハイブリッド自動車等の購入に補助金(上限 50 万円)を交付します。

[緑政課]

- 生垣推進奨励事業
生垣用樹木の配布とブロック塀等の撤去費用の一部を助成します。
- 壁面緑化推進事業
JR 逗子駅及び東逗子駅周辺でのつる性植物等による壁面緑化費用の一部を助成します。
- 保存樹林奨励事業
市街地の山林所有者と保全契約を締結し、奨励金を交付します。

[生活環境課]

- 生ごみ処理容器等購入費助成金制度
家庭用生ごみ処理容器等を購入された方に、最高 3 万円までの助成金を交付します。
- 資源回収奨励金制度
地域で新聞・雑誌等の集団回収を行う団体に対して、奨励金を交付します。
- ごみ減量化・資源化協力店制度
簡易包装や買い物袋持参の推進等を実践していただける事業者の方を協力店として指定します。



編集後記

- ★ずしし環境会議(エコリーダーズ会議)も二年目に入り、各部会の活動はますます活発・充実してきました。
- ★今回は環境月間の催しを中心に、三部会の平成14年度の活動内容をご紹介します。
- ★本ニュース第3号は全戸配布ができました。みなさまの環境問題に対するますますのご理解とご協力をお願い申し上げます。
編集委員 秋山満正・齋藤 稔・谷 守弘